



施工業者様用

塩ビシート防水断熱機械的固定  
軽歩行工法

# ビュートップ Kウォーク工法 （断熱機械的固定工法） 施工マニュアル

## 《施工マニュアル掲載内容》

1. 部材…	施工上必要な部材について掲載	P1
2. 必要工具…	施工上必要な工具について掲載	P2
3. 施工フローチャート…	施工手順の大枠について掲載	P2
4. 施工手順…	施工手順の詳細について掲載	P3～7
5. 施工上の注意点…	ドレン回りの納め方について 不具合を防止するための注意事項につ いて掲載	P8～10

# 田島ルーフィング株式会社

## 1. 部材

主要材料	規格	標準使用量	1本(缶) 当たりの面積	積算式
ビュートップ U20 ビュートップ Z20 ビュートップ C20※1	1,200mm×10m/巻	0.86m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	11.6 m <sup>2</sup> /巻	□÷11.6
K ウォーク	1,000 mm×1,000 mm、3 mm厚	1 枚/m <sup>2</sup>	1 m <sup>2</sup> /枚	□÷1
AC ボンド	18 kg/缶	40g/m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup> /缶	□÷450
ルートガードテープ	100 mm×50m/巻	2m/m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup> /巻	□÷25
VT ボード (断熱材)	厚さ：25、30、35、40、50mm 900mm×1,200mm	0.93 枚/m <sup>2</sup>	1.08 m <sup>2</sup> /枚	□÷1.08
VT ボンド※2	15 kg/缶	0.4 kg/m <sup>2</sup>	37.5 m <sup>2</sup> /缶	□÷37.5
VT シール	333cc (500g) /カートリッジ 20 本/箱	0.12 kg/m	83.3m/箱	□÷83.3
テーパープレート S※1	長さ：2,000mm	—	—	適宜
テーパープレート K※1	長さ：2,000mm	—	—	適宜
溶着剤	1 kg/缶	20g/m	50m/缶	(m)÷50
U シール	1 kg/缶	20g/m	50m/缶	(m)÷50
VT テープ	30mm×15m 5巻/箱	立上り端末 m 数	75m/箱	(m)÷75
VT テープ 50	50mm×15m 3巻/箱	立上り端末 m 数	45m/箱	(m)÷45
P-カットテープ	50mm×25m 30巻/ケース	—	—	適宜
VT コート	15 kgセット (主剤：6 kg・硬化剤：9 kg)	0.15 kg/m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup> /セット	□÷100
VT コート C	15 kgセット (主剤：6 kg・硬化剤：9 kg)	0.15 kg/m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup> /セット	□÷100
UP アンカー 35、50、60、75	長さ：35、50、60、75 mm 100 本/箱	—	—	適宜
TC アンカー 50、80、100、125、150	長さ：50、80、100、125、150 mm 100 本/箱	—	—	適宜

※1 受注生産品です。

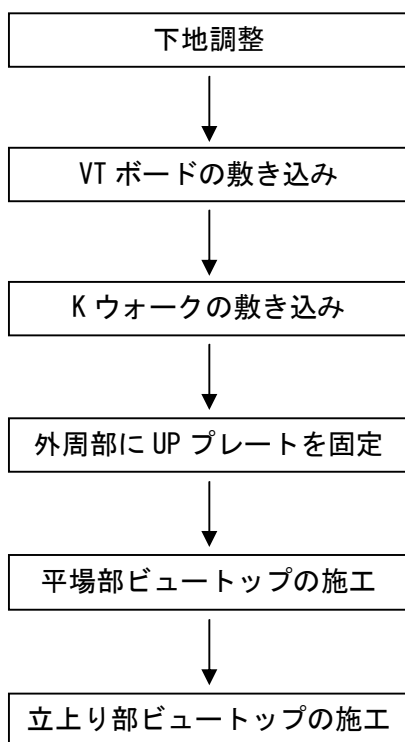
※2 下地の状態により使用量の変動する場合があります。

## 2. 必要工具

<input type="checkbox"/> 熱風溶接機	<input type="checkbox"/> 溶着刷毛・溶着器	<input type="checkbox"/> 平板転圧ローラー
<input type="checkbox"/> 押さえ板	<input type="checkbox"/> カッター	<input type="checkbox"/> コンベックス
<input type="checkbox"/> チョークライン	<input type="checkbox"/> チェック棒	<input type="checkbox"/> 油さし（Uシール充填用）
<input type="checkbox"/> 金切りバサミ	<input type="checkbox"/> 電動ドリル	<input type="checkbox"/> インパクトドライバー
<input type="checkbox"/> 膝当て（VTボードの膝による凹み防止用）※必須となります		

- ・膝当て（ソフトニーパット）は必須となります。ホームセンター等でご用意ください。
- ・その他、安全確保のため、長袖、長ズボン、ヘルメット、防護具を着用して作業を行ってください。

## 3. 施工フローチャート



一般部、側溝、ドレン周り等、不陸の勾配調整等が必要な場合は、三星リグレー等の下地調整材で下地調整を行います。

VTボードを下地に敷き並べます。

VTボード上、Kウオークの目地部にACボンドを塗布します。目地部に3~5mmの隙間を空けて敷き並べます。目地部にはルートガードテープを張ります。

外周部のプレートはアンカーで固定します。プレートのジョイントはP-カットテープを張ります。

通常のビュートップ工法と同様になります。詳しくはビュートップ施工マニュアルをご確認ください。

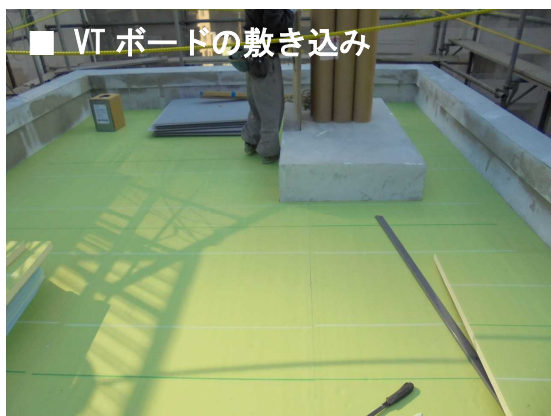
## 4. 施工手順

### ①下地調整

一般部、側溝、ドレン周り等、不陸の勾配調整等が必要な場合は、三星リグレー等の下地調整材で下地調整を行います。

### ②VT ボード（断熱材）の敷き込み

VT ボードのグリーン面を上向きに、隙間なく敷き込みます。



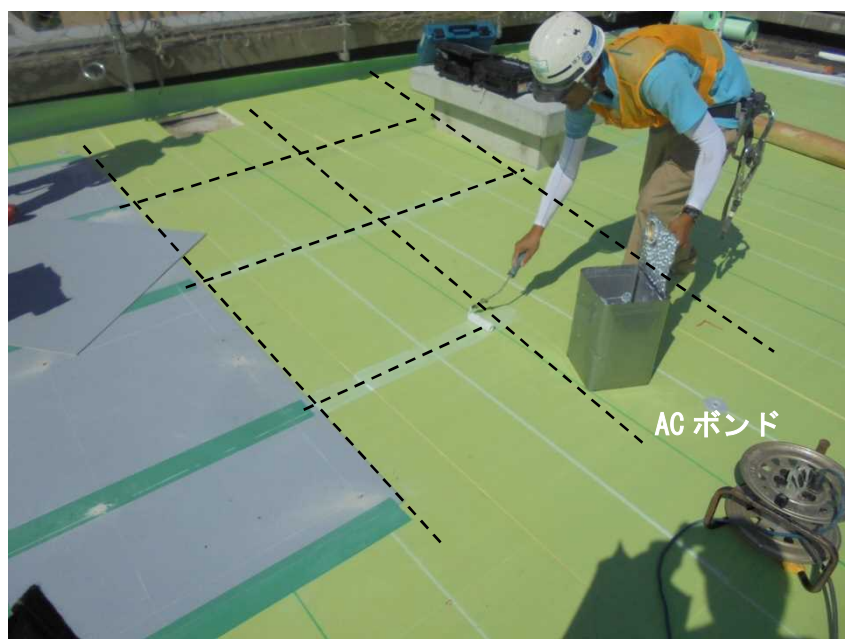
VT ボードのグリーン色面を上向きに、隙間なく敷き込む。

予め準備したひざ当てを装着し施工することで、膝跡による VT ボードの凹みを防止する。

### ③K ウォーク（断熱材保護ボード）の敷き込み

#### 1. AC ボンドの塗布

- ・ VT ボード敷設後、VT ボードに AC ボンドを塗布する。
- ・ 塗布位置は K ウォークの目地（写真の点線部分）とする。
- ・ 塗布は幅 200 mm 程度のローラーで行い、K ウォークの外周に 100mm 程度掛かる様にする。  
※使用量は約 40g/m<sup>2</sup> となり、AC ボンド 1 缶で約 450 m<sup>2</sup> 分となる。
- ・ AC ボンドが透明となり、粘着力が発現した後、K ウォークの敷き込み工程に移る。



## 2. Kウォークの敷き込み

- ・Kウォークの目地に3~5mmの隙間を空け、Kウォークを敷き並べます。
- ・Kウォークの目地を転圧ローラーにて転圧し、VTボードにKウォークを固定します。

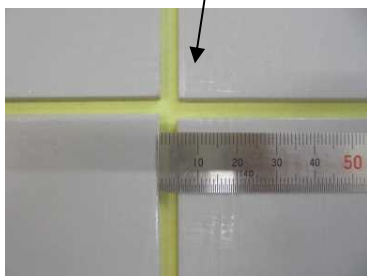


■ Kウォークの敷き込み

Kウォークの目地に3~5mmの隙間を空けて、Kウォークを敷き並べる。

Kウォークの目地を転圧ローラーにて転圧し、VTボードにKウォークを固定する。

入隅等に塩ビ被覆鋼板 UP-3 を使用する場合は、入隅等から1mm程度の間隙を空けてKウォークを施工する。



※目地は3~5mmの間隙を空ける

## 3. ルートガードテープの貼付け

Kウォークの目地上にルートガードテープを張付け、転圧ローラーにより転圧し圧着します。



■ ルートガードテープ処理

Kウォークの目地はルートガードテープで処理する。

全ての目地にルートガードテープを張り付ける。

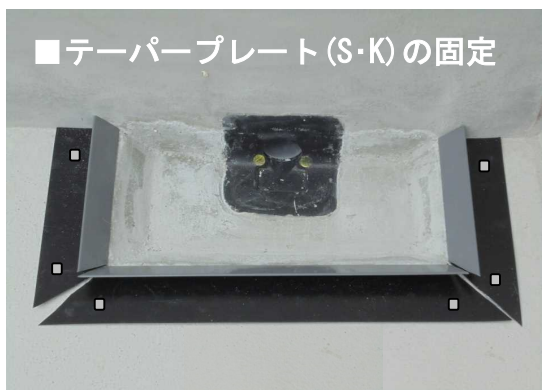
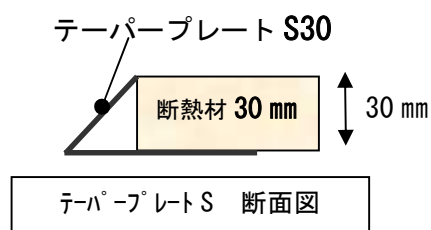
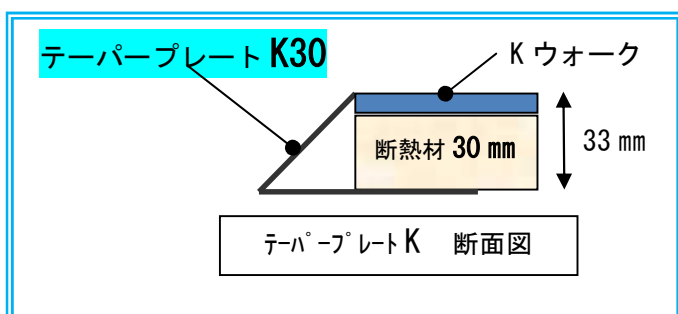
## ④ビュートップの施工

基本的な施工方法は通常のビュートップ工法と同様になります。詳しくはビュートップ施工マニュアルをご確認ください。

## ⑤-1 ドレン回りの納め方

ドレン回り、側溝部にはテーパプレート K およびテーパプレート S を使用します。

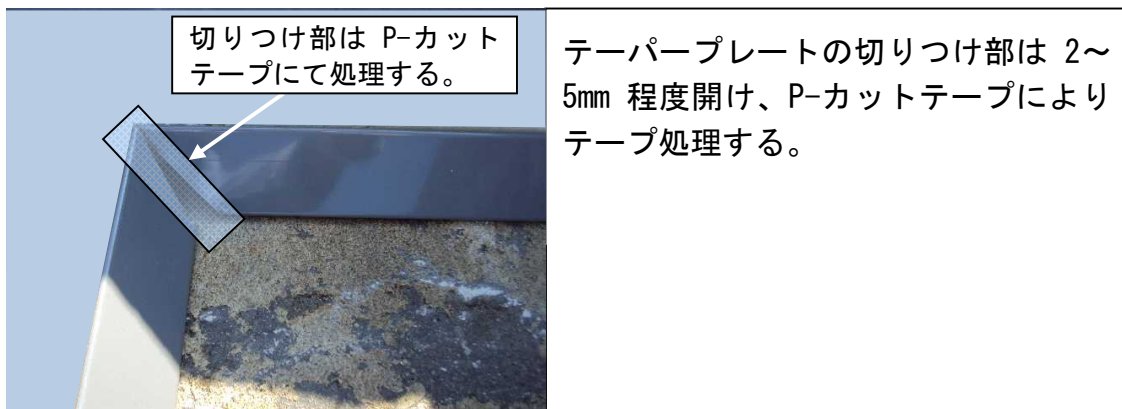
- **テーパプレート K**…ドレン回り、側溝部に K ウォークを使用する場合に採用します。  
K ウォークと取り合うため、テーパプレート S よりも 3 mm 大きい形状となっています。
- **テーパプレート S** …K ウォークを敷設しない部分のドレン回り、側溝部を納める場合に採用します。



ドレンの形状に合わせてテーパプレート (S・K) を裁断加工し、アンカーにより固定する。



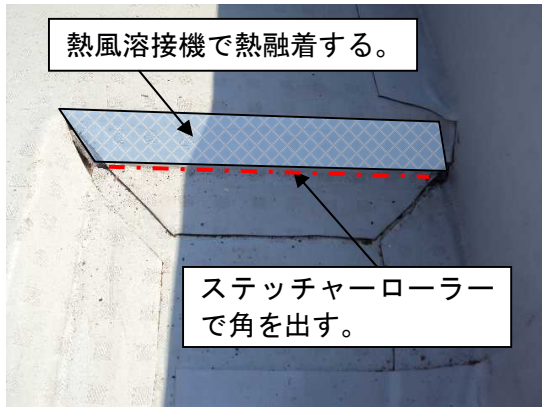
ドレンの形状に合わせて VT ボード、および K ウォークを裁断し、設置する。



※写真シートは M20 ですが、機械的固定工法には U20、C20、Z20 をご使用下さい。



平場部のビュートップに切り込みを入れる。



ドレン回りのビュートップのラップ部は熱風溶接機で熱融着する。

※テーパプレートは塩ビ被覆されており、ビュートップを熱風溶接機で熱融着させると納まりが良好となります。



切り込み部に増し張り。



各ジョイント端部にUシールを塗布する。

※写真シートはM20ですが、機械的固定工法にはU20、C20、Z20をご使用下さい。



## 5. 施工上の注意点

### ① 施工中の膝跡による断熱材の凹み

断熱材に過度な荷重を加えた場合に凹みが発生します。

断熱材に膝を着いたり、防水材料を落としたりした場合、断熱材が凹み、仕上りに影響することがあります。



#### 《対応策》

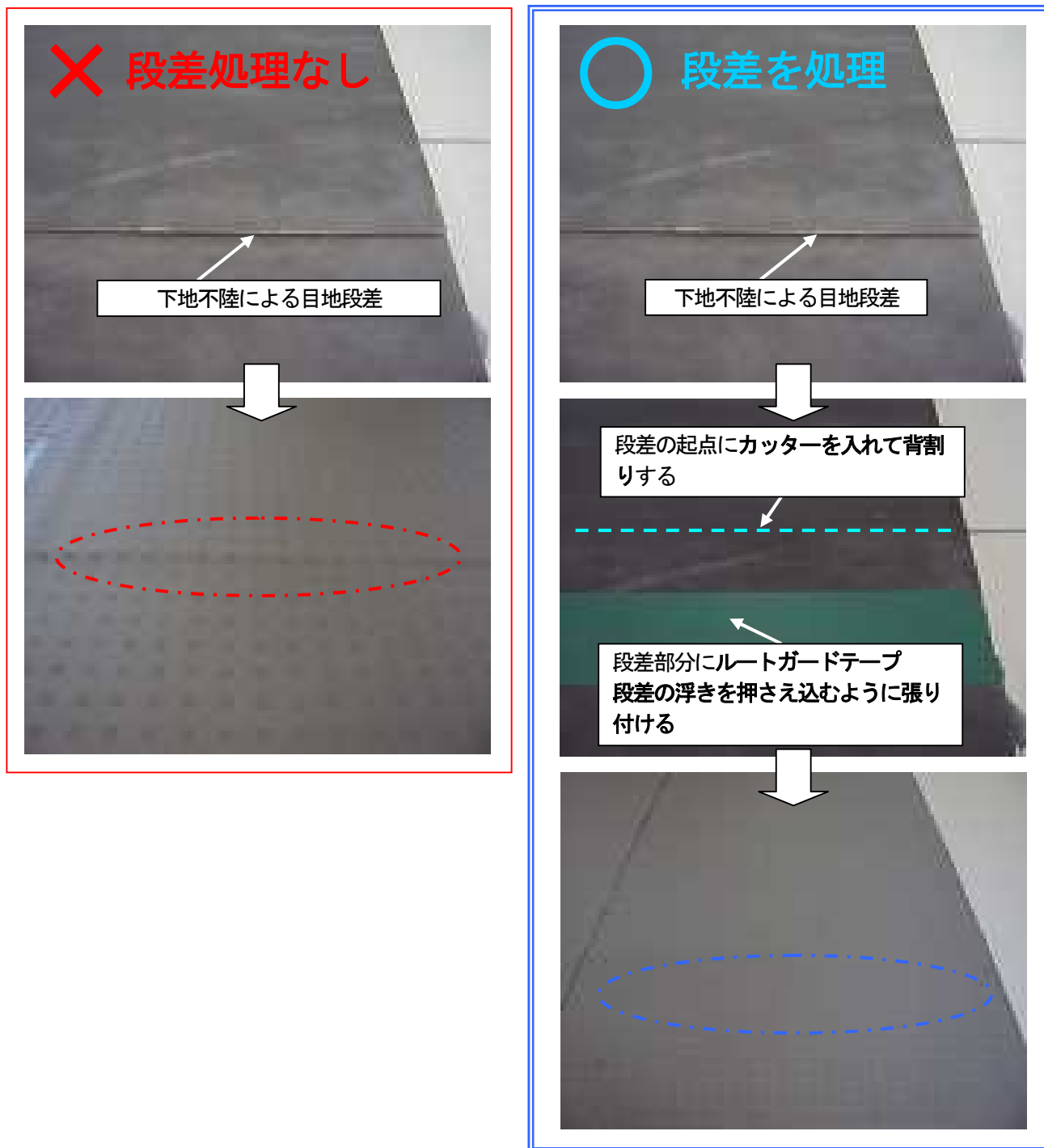
- 施工の際、膝当てを必ず着用する（市販品 ソフトニーパットなど）。  
※ホームセンター等にてご用意ください。
- ビュートップ施工前に断熱材が凹んだ場合はVT シールを充填し、ルートガードテープを張ることで処理する。

## ② 断熱材の目地段差による仕上りへの影響

《下地の不陸等により断熱材に段差が生じた場合の処理方法》

下地の不陸等により断熱材に段差が生じると、仕上がりに影響することがあります。

下地の不陸等により断熱材に段差が生じた場合は、背割りを行い、ルートガードテープで処理します。



③ Kウォークには「テーパプレートK」を使用して下さい

Kウォーク断面と塩ビシートが長期間接触する場合、塩ビシートの劣化を促進させることがあります。

ドレン回り、側溝部にKウォークを使用する場合は、テーパプレートKを使用します。

※Kウォークを使用しない場合は、テーパプレートSを使用します。

《対応策》

- Kウォークと取り合う箇所にはテーパプレートKを使用する。

以上